

生田緑地保全に尽力…「楽しみながら活動」

とんもりやと  
**飛森谷戸の自然を守る会が**  
ふるさと  
**「手づくり郷土賞・大賞」を受賞**

1996年に発足。昔ながらの自然を子どもたちに残そうと、古い地域名である「飛森谷戸」を団体名に冠しました。メンバーは約30人、生田緑地内の初山地区のうち約2.7haで清掃や下草刈り、間伐などを定期的に行っているほか、緑地内の整備計画にも携わっています。水田の管理やホタル育成にも力を入れており、田植え、稲刈り、脱穀体験や自然観察会、森のコンサートなども開いています。



上左:初夏、飛森谷戸で見られるホタル。上右:森のコンサート。左:田植えの様子。下:故矢澤茂会長



3月3日生田緑地ビジターセンターで認定証授与式が行われました。高木一弘事務局長(多摩川エコミュージアム理事)は1月に矢澤茂会長が逝去されたことに触れ、「彼は生前、ボランティア活動は楽しく、いいさじ加減が大事と語っていた」と語っていました。私たちはこれからも頑張らずに楽しみながら活動を発展させていきたいと、気持ちを新たにしています。(27.3.4 神奈川新聞記事活用)



繋がる、広がる  
**多摩川の輪**

Vol.12

**植樹祭&収穫祭は12回を重ねる《麻生多摩美の森の会》**

(里芋掘り・アルプホルンの演奏)

麻生区市民健康の森として2002年4月設立(メンバー 40名)。多摩美地区は多摩丘陵の一部として約10haにわたり、里山の生態系豊かな緑が広がっており、隣接する5つのボランティア団体が都市部の貴重な緑を次世代に引き継ぐための活動を続けております。

植物観察会、小学校の総合的学習への協力、夏・冬の星の観察会(オーロラ天文台、反射望遠鏡)、プレイパークへの協力などを開催し、地域との交流を深めています。川崎市市制90周年記念式典で功労賞を受賞しました。管理面積は約1.5ha、毎月第1土曜、第3日曜に活動しています。

代表 間野 洋さん(麻生区多摩美在住)



**編集後記**

二ヶ領せせらぎ館の横土手に河津桜が今満開、4月4日の多摩川桜のコンサートにソメイヨシノは満開でしょうか? 今年も3月初旬には大きな魚体のマルタウグイが遡上して、釣り人を楽しませています。3月中旬でも体感温度は冬ですが、季節は確実に動いて、春は真近。

情報紙もおかげさまで100回記念紙となり、福田市長にも寄稿いただきました。せせらぎ館活動・多摩川エコミュージアム活動も何度かの冬の時期を過ぎて、活動の季節、春を迎えているように感じる今日この頃です。



**二ヶ領せせらぎ館**

- アクセス  
JR南武線・小田急 登戸駅 徒歩10分  
JR南武線 宿原駅 徒歩15分  
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮願います。
- 開園時間  
午前10:00~午後4:00  
6月~9月の土・日・祝日  
午前10:00~午後5:00
- 休館日  
毎週月曜日  
(月曜が祝日の場合はその翌日)